

本稿は 2017 年 5 月 15 日、AIG 米国本社が発表した英文プレスリリース(原文)の参考訳です。
本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。
原文の発信日付で、AIG ジャパンのホームページに掲載しています。

※本件に関連する AIG ジャパン・ホールディングス株式会社からの追記情報
ブライアン・デュパロウは、1989 年 8 月から 1991 年 7 月までの間、AIG の日本と韓国における事業を統括する責任者を務め、東京にて勤務しておりました。



AIG、ブライアン・デュパロウを社長兼 CEO に任命

ニューヨーク、2017 年 5 月 15 日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク(ニューヨーク証券取引所銘柄=AIG)は本日、2017 年 5 月 14 日付けでブライアン・デュパロウを社長兼最高経営責任者(CEO)および取締役役に任命したと発表しました。デュパロウはハミルトン・インシュアランス・グループ(以下、「ハミルトン」)の会長兼 CEO 職を退任しました。デュパロウの就任と同時に、ピーター・D・ハンコックは AIG の社長兼 CEO および取締役役を辞任しました。

AIG の取締役会会長であるダグラス・M・スティーンランドは次のように述べました。「デュパロウ氏はこの重要な時期に AIG を率いる人物として比類のない適任者です。デュパロウ氏はキャリア開始から一貫して保険業界に身を置き、21 年在籍した最初の勤務先である AIG のことをよく理解しています。AIG の主要競合相手の一つである ACE の CEO を務め、また、AIG の最大のブローカー・パートナーの一つであるマーシュ・アンド・マクレナン・カンパニーズの経営にも携わりました。ハミルトンでは、保険ビジネスに最先端のデータ・サイエンスと分析技術を導入しました。現場と共に歩むリーダーとして、収益面で優れた結果を一貫して上げてきた実績を持ち、新しい革新的な方法を取り入れながら、顧客にサービスを提供することに情熱を注いできました。AIG が持てる可能性をいかに発揮し、保険業界トップを目指していくうえで、こうしたデュパロウ氏の実績のすべてが活かされるでしょう。」

「AIG の将来に向けた体制作りリーダーシップを発揮してくれたピーター・ハンコック氏に取締役会と共に感謝の意を表します。ハンコック氏は在任中、収益の質と持続性を高めるための道筋をつけ、リザーブに関するリスクの大幅な軽減を実現しました。この 7 年間のハンコック氏のリーダーシップに感謝します。」

デュパロウは次のように述べました。「古巣の AIG で指揮を執ることを光栄に思います。AIG が世界有数の保険会社として 100 年近く培った伝統を次の 100 年に向けて更に積み重ねていくことを心待ちにしています。」

「取締役会や経営陣との意見交換では、これまでに達成された進展に強い感銘を受けました。この勢いに乗って事業の拡大を図り、お客様のために革新的なソリューションをもたらし、サービスを提供し続けるために AIG の世界のチームと共に取り組んでいくことを楽しみにしています。また、テクノロジーに最も強く、資本効率の高い保険会社になることを目指し、AIG がハミルトン、ツー・シグマの両社と協力し続けていくことを嬉しく思っています。」

デュパロウの報酬契約は本プレスリリース発表日に AIG が米国証券取引委員会に提出した Form 8-K(臨時報告書)に記載されています。ニューヨーク証券取引所規則に従い、デュパロウの AIG における雇用開始時に AIG 普通株式

50万株を取得できるストック・オプションが報酬契約の一環として付与されます。これはAIGの株価が特定の株価目標を上回ると権利が確定するものであり、ニューヨーク証券取引所上場規則303A.08に基づく「雇用誘因付与（employment inducement grant）」として、AIGの株式報奨制度とは別に付与されるものです。

デュパロウの前職はバミューダを拠点とする持株会社で、バミューダ、米国、英国で損害保険および再保険事業を展開するハミルトン・インシュアランス・グループの会長兼CEOでした。その前はリスク、戦略、人に関する助言やソリューションを世界の顧客に提供する専門サービス会社であるマーシュ・アンド・マクレナン・カンパニーズの社長兼CEOを2008年から2012年まで務めました。マーシュに移る前は保険・再保険会社のACEリミテッドの非常勤会長を2年務め、1994年10月から2004年5月まではACEリミテッドのCEOでした。ACEの前は1973年から1994年までAIGおよび関連会社で様々な役職を歴任しました。

現在、デュパロウはハミルトン・インシュアランス・グループ、AIGおよびツリー・シグマが共同設立したデータ会社であるアチューンの会長、ブルー・マーブル・マイクロインシュアランスの取締役会会長を務めています。また、ニューヨークのセント・ジョーンズ大学リスク・マネジメント大学院の前監督理事会会長で、現在、国際保険学会、米国保険情報協会、バミューダ海洋科学研究所(BIOS)の理事を務めています。ニューヨークのメトロポリタン・オペラ協会の元会員でもあり、現在、ジョンソン・コントロールズ取締役を務めています。

デュパロウは、2017年5月15日(月)午前9時30分(米東部標準時)、AIGのコンシューマー・インベスター・デー開会の挨拶を述べます。その模様はウェブ配信により公開され、www.aig.comのインベスター・リレーションズのページでライブ音声をお聞きいただけます。投資家会議終了後、同ページで再生が可能です。

#

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、将来の事象に関するAIGの見解のみを表しており、その多くは性質上、本質的に不確実なものでありAIGに制御可能な範疇を超えています。実際の結果は、これらの記述によって示唆される予想される結果と(場合によっては大きく)異なる可能性があります。実際の結果がかかる将来の見通しと(場合によっては大きく)異なる要因は、1934年証券取引所法に基づき、AIGが定期的に米国証券取引委員会に対して提出する書類に記載されます。

AIGグループは、世界の保険業界のリーダーであり、80以上の国や地域で顧客にサービスを提供しています。1919年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客様の資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。AIGグループにおける主要事業は、コマーシャル・インシュアランスおよびコンシューマー・インシュアランス、ならびにその他の事業で構成されます。コマーシャル・インシュアランスは、企業賠償・経営保険、企業財物・スペシャリティ保険の2事業部門、コンシューマー・インシュアランスは、個人向け退職給付、団体向け退職給付、生命保険、個人向け損害保険の4事業部門により構成されています。持株会社AIG, Inc.はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場しています。詳細は、ウェブサイトwww.AIG.comをご覧ください。